



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 ジオスター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5282 URL <http://www.geostr.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 栗山 実則
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員経営管理部 (氏名) 井上 幸則 (TEL)03(5844)1201
 経理チームリーダー
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,068	36.9	11	—	32	—	17	—
25年3月期第1四半期	4,431	—	△252	—	△238	—	△178	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 67百万円(—%) 25年3月期第1四半期 △221百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.56	—
25年3月期第1四半期	△5.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	23,449	14,399	61.3
25年3月期	25,294	14,473	57.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 14,370百万円 25年3月期 14,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、平成26年3月期の期末配当については、現在のところ具体的な金額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△5.1	150	△55.5	180	△51.4	100	△93.8	3.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	31,530,000株	25年3月期	31,530,000株
26年3月期1Q	242,588株	25年3月期	242,588株
26年3月期1Q	31,287,412株	25年3月期1Q	31,288,209株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループは、適正な利潤の確保に努め、健全な発展と持続性のもと、収益状況に対応した安定適性な配当維持に努力することを基本方針としております。また、内部留保をさらに充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。平成26年3月期の配当につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから、今後の業績や財務状況等を総合的に勘案したうえで判断させていただきます。現時点では未定とさせていただきます。配当予想を決定次第、速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安効果による輸出の持ち直しや国内需要の底堅さを背景に、緩やかに回復しております。個人消費は、アベノミクスへの期待による消費者マインドの改善から、底堅く推移しており、雇用情勢についても、改善の兆しが見られています。今後も、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見込まれることなどから、高めの成長が続くことが予想されます。

しかしながら、当社グループの属する建設業界につきましては、土木事業分野においては、復興需要や緊急経済対策の効果から増加しているものの、ゼネコンの低価格入札による競争激化と受注価格の低下により、厳しい事業環境が続いております。また、建築事業分野においては、各種住宅関連施策と低金利状態の継続の効果から、新設住宅着工戸数は緩やかな回復基調にはあるものの、依然として低水準で推移しております。

このような状況下、当社グループは、厳しい経営環境を乗り越え、業界トップ水準の技術力・収益力・財務体質を堅持・向上していくため、受注拡大と徹底したコスト削減による利益向上対策のみならず、将来の成長に向けた基盤整備を最大限織り込んだ平成26年度中期計画（平成25～26年度）を前連結会計年度に策定し、実行に着手してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高60億68百万円（前年同期は44億31百万円）、営業利益11百万円（前年同期は2億52百万円の損失）、経常利益32百万円（前年同期は2億38百万円の損失）、四半期純利益17百万円（前年同期は1億78百万円の損失）となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

土木

平成23年10月1日付の合併により、当社は鋼製セグメントの製造販売及び合成セグメント等についての新日鐵住金株式会社からの受託製造を行うこととなり、シールドトンネルに必要なあらゆる種類のセグメントを製造できる体制を整えることとなりました。本合併の効果に加えて、従来から推し進めております在来工法のプレキャスト化の受注拡大に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の土木事業全体の売上高は48億30百万円（前年同期は35億69百万円）、営業利益は77百万円（前年同期は1億30百万円の損失）となりました。

建築

戸建鉄筋コンクリート住宅を担当する100%子会社のレスコハウス株式会社は、抜本的な収益力強化に取り組んでおります。営業面では、新商品として賃貸住宅「オプティマ」及び都市型住宅「スリムマイライフ」を前連結会計年度に市場投入すると共に、ネット広告の強化、キャンペーンの充実及び提携先従業員の知名度向上などにより、受注の確保・拡大に全力で取り組んでおります。また、コスト面では、協力会社と一体となったコスト削減と工場の生産性向上を推進しております。以上の結果、建築事業全体の売上高は、12億38百万円（前年同期は8億62百万円）、営業損失は66百万円（前年同期は1億21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は234億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億44百万円減少しました。流動資産につきましては150億95百万円となり、18億81百万円減少しました。現金及び預金（前連結会計年度増減額18億8百万円）は増加したものの、預け金（同△37億3百万円）が減少したことが主な要因であります。固定資産につきましては、83億54百万円となり、36百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は90億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億71百万円減少しました。流動負債につきましては77億25百万円となり、17億76百万円減少しました。短期借入金（同△6億円）、未払法人税等（同△5億39百万円）、支払手形及び買掛金（同△4億13百万円）が減少したことが主な要因であります。固定負債につきましては、13億24百万円となり、5百万円増加しました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は143億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円減少しました。以上の結果、自己資本比率は61.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月15日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、当社グループの業績管理は、主に、通期をベースに行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	512,386	2,321,284
預け金	3,703,789	—
受取手形及び売掛金	5,305,238	5,681,537
商品及び製品	3,889,279	3,092,612
仕掛品	814,776	831,821
原材料及び貯蔵品	868,412	695,351
未収入金	1,300,434	1,902,266
その他	585,616	572,245
貸倒引当金	△2,589	△1,658
流動資産合計	16,977,343	15,095,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,459,612	1,428,944
機械装置及び運搬具(純額)	601,582	580,079
土地	4,433,011	4,436,711
その他(純額)	140,244	153,207
有形固定資産合計	6,634,449	6,598,943
無形固定資産	125,003	119,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,220,866	1,301,028
その他	391,843	389,503
貸倒引当金	△54,868	△54,770
投資その他の資産合計	1,557,841	1,635,760
固定資産合計	8,317,294	8,354,251
資産合計	25,294,638	23,449,711

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,499,597	4,086,495
短期借入金	1,100,000	500,000
前受金	1,156,299	870,670
未払法人税等	564,042	24,791
未払消費税等	—	77,602
未払金	1,741,873	1,607,306
完成工事補償引当金	25,961	26,923
賞与引当金	210,750	119,549
受注損失引当金	118,730	75,217
その他	84,925	337,292
流動負債合計	9,502,180	7,725,850
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
退職給付引当金	289,063	289,906
役員退職慰労引当金	121,337	97,091
資産除去債務	138,412	138,574
その他	720,634	749,088
固定負債合計	1,319,448	1,324,661
負債合計	10,821,629	9,050,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,352,250	3,352,250
資本剰余金	4,384,580	4,384,580
利益剰余金	6,398,299	6,274,915
自己株式	△26,902	△26,902
株主資本合計	14,108,227	13,984,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334,937	385,402
その他の包括利益累計額合計	334,937	385,402
少数株主持分	29,844	28,954
純資産合計	14,473,009	14,399,199
負債純資産合計	25,294,638	23,449,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,431,707	6,068,697
売上原価	3,888,458	5,266,053
売上総利益	543,249	802,643
販売費及び一般管理費	795,872	791,505
営業利益又は営業損失(△)	△252,623	11,138
営業外収益		
受取利息	312	120
受取配当金	6,101	6,055
受取ロイヤリティー	5,500	7,160
その他	5,236	9,570
営業外収益合計	17,151	22,907
営業外費用		
支払利息	3,064	1,083
その他	361	498
営業外費用合計	3,425	1,582
経常利益又は経常損失(△)	△238,897	32,464
特別利益		
固定資産売却益	1,328	472
特別利益合計	1,328	472
特別損失		
固定資産除売却損	976	1,196
減損損失	3,532	—
ゴルフ会員権評価損	120	—
特別損失合計	4,628	1,196
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△242,197	31,740
法人税等	△64,783	14,622
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△177,414	17,118
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,006	△290
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△178,420	17,408

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△177,414	17,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,924	50,465
その他の包括利益合計	△43,924	50,465
四半期包括利益	△221,338	67,583
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,344	67,873
少数株主に係る四半期包括利益	1,006	△290

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	土木	建築	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	3,569,084	862,623	4,431,707	—	4,431,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,555	7,761	11,316	△11,316	—
計	3,572,639	870,384	4,443,023	△11,316	4,431,707
セグメント損失(△)	△130,907	△121,715	△252,623	—	△252,623

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「土木」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において3,532千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	土木	建築	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
外部顧客への売上高	4,830,290	1,238,407	6,068,697	—	6,068,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,723	6,456	10,180	△10,180	—
計	4,834,013	1,244,864	6,078,877	△10,180	6,068,697
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	77,553	△66,414	11,138	—	11,138

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。